

宿泊業の魅力伝える

女性のためのセミナー

九州運輸局 女将ら3氏が学生に

国土交通省九州運輸局主催の「女性のための宿泊業セミナー」が12月9日、福岡市内で開かれた。来春以降の卒業を控えた女子大学生、専門学校生を対象に、旅館・ホテルの女性経営者ら3氏が宿泊業で働くことの魅力を伝えた。



登壇したのは要庵西宮屋(京都市)若女将の御崎麻美さん、平山旅館(長崎県香岐市)女将の平山真希子さん、JR九州執行役員でJR九州ホテルマネジメント社長の浜田真知子さん。温泉エッセイストの山崎まゆみさんがコーディネーターを務めた。

要庵西宮屋は京都市の中心に位置する客室7室、創業150年の老舗旅館。御崎さんは旅館について「芸能、意匠、建築、衣装、工芸、食など、日本文化の融合体」と述べることも、「旅館と

セミナーの様子(2000画面から)

はなくなる。プライベートを楽しんだり、オンとオフの切り替えもできていく」と自身の経験を交えて語った。

嬉野八十八(佐賀県嬉野市、2023年10月1日開業)、長崎マリオートホテル(長崎市、24年初頭開業)を運営するJR九州ホテルマネジメント社長の浜田さんは「女性特有の出産は、今は(休暇の)制度が整っており、過度に心配する必要はない」「旅館・ホテルはもてなしだけでなく、マーケティング、財務、人事と、さまざまな仕事がある。人と接するのが得意でない人も行える仕事がある。ただ、地

いう商品を作ることが日本文化を継承することだ」と、自身が関わる仕事の魅力を強調。「笑顔が素敵な人、人のために何かをしたいと思う人に来ていただきたい」と就職を控えた学生らに呼び掛けた。

【森田淳】

域を盛り上げるというマインドは共通して持っている」とアドバイスした。

コーディネーターの山崎さんは「旅館・ホテルは地域のショーケース。地域の『誇り』を伝える素晴らしい仕事だ」と輝いている現場には必ず女性がいる。皆さんの若い力を授けてほしい」と、取材者として宿泊業界に関わる立場から訴えた。